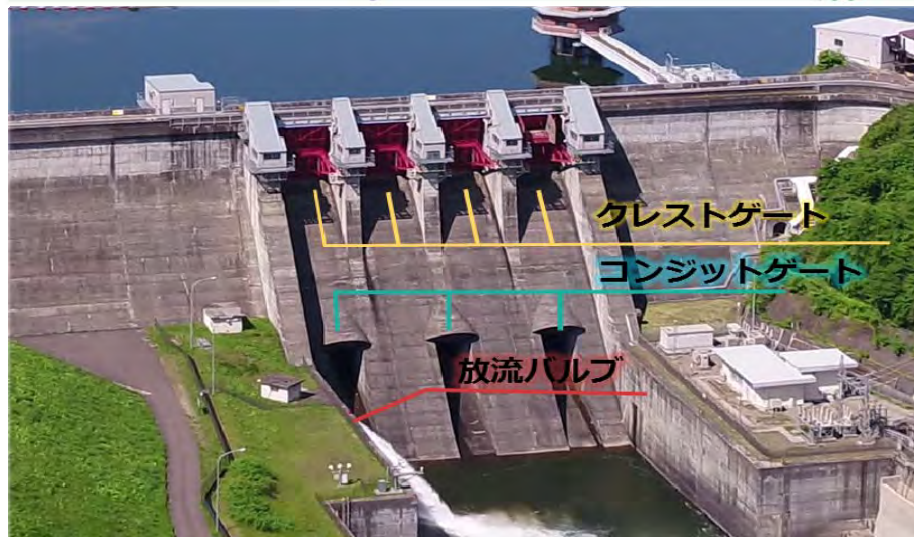
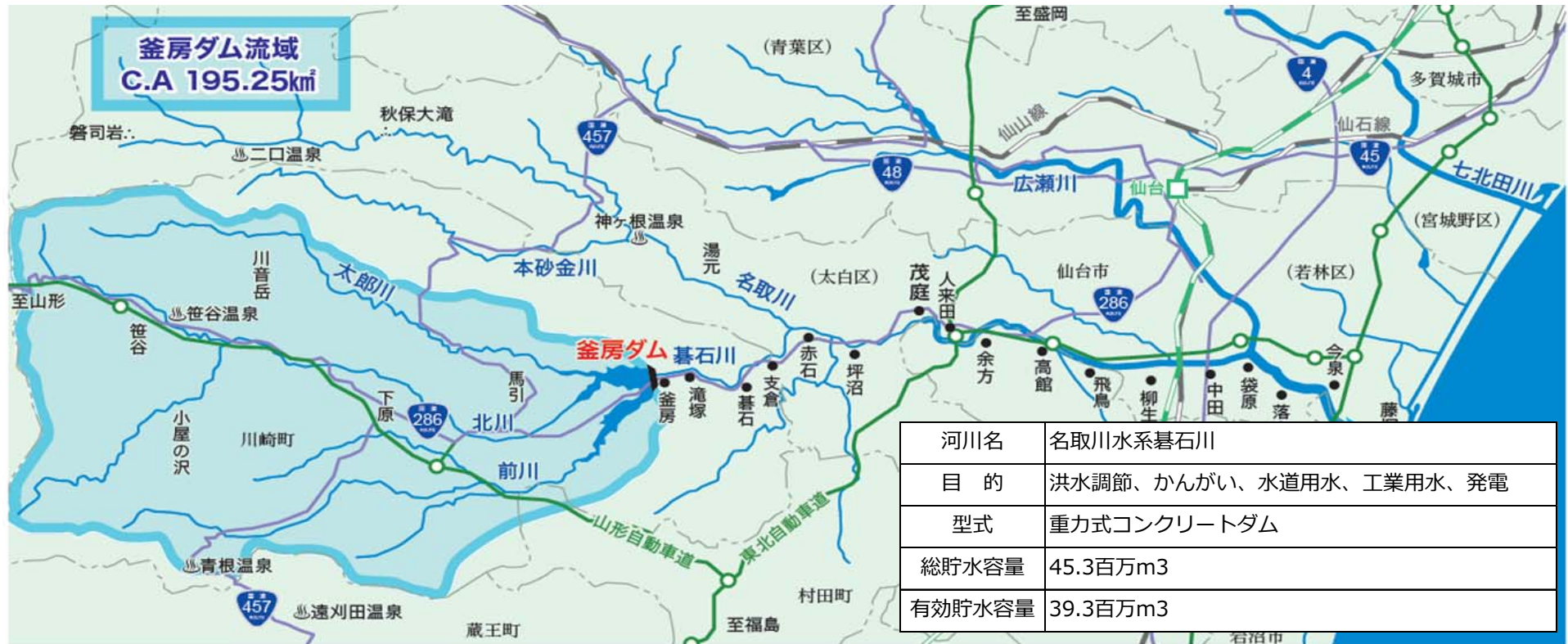


# 第6回 名取川・阿武隈川下流等 大規模氾濫時の減災対策協議会

- ① 利水容量の暫定的活用に向けた堰堤維持事業の  
拡充と事前放流について
- ② ダム下流の浸水想定区域の検討について

令和元年7月17日  
釜房ダム管理所  
東北地方整備局 河川部

# 1. 利水容量の暫定的活用 – 釜房ダムの概要と放流設備 –



## ■ 釜房ダムの放流設備

設備名	規格	数量	概要
クレストゲート	8.0m×8.9m	4門	225m <sup>3</sup> /秒/門
コンジットゲート	4.5m×4.4m	3門	320m <sup>3</sup> /秒/門
放流バルブ	φ1.2m	1門	10m <sup>3</sup> /秒

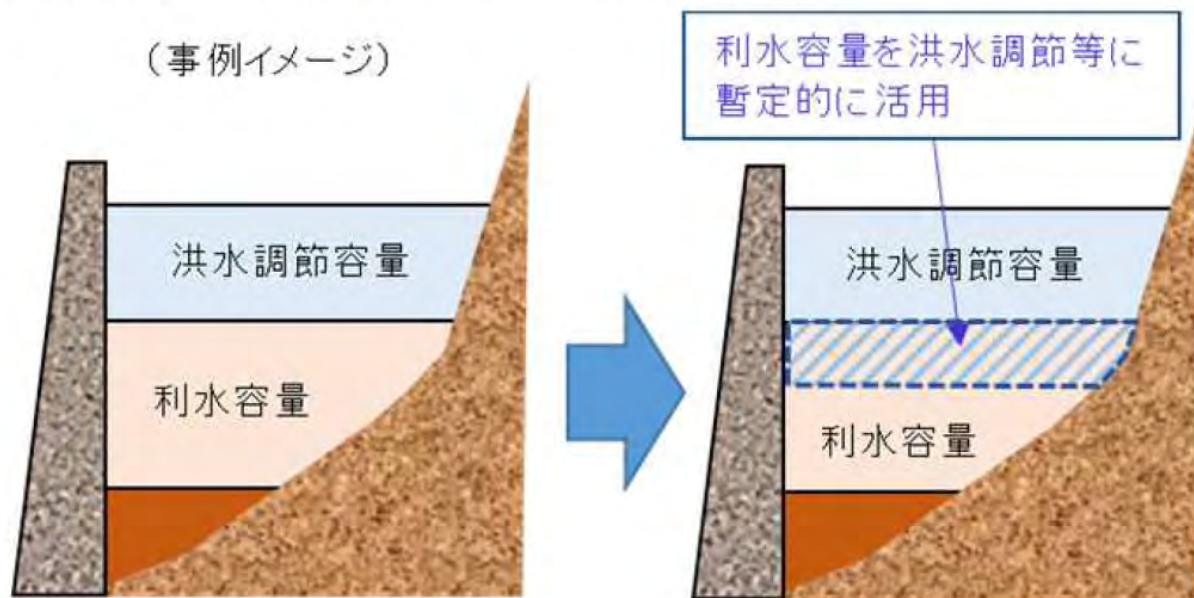
計画洪水流量	1,650m <sup>3</sup> /秒
計画放流量	850m <sup>3</sup> /秒
調節流量	800m <sup>3</sup> /秒

# 1. 利水容量の暫定的活用 — 制度概要と利水者への説明経緯 —

## 【利水容量の暫定的活用に向けた堰堤維持事業の拡充】

河川改修が進捗するまでの期間においても、上流部の治水安全度を向上させるため、ダム の 利水容量を洪水調節等に暫定的に活用するための経費を堰堤維持費の対象に追加する。

## 【利水容量の暫定的活用】



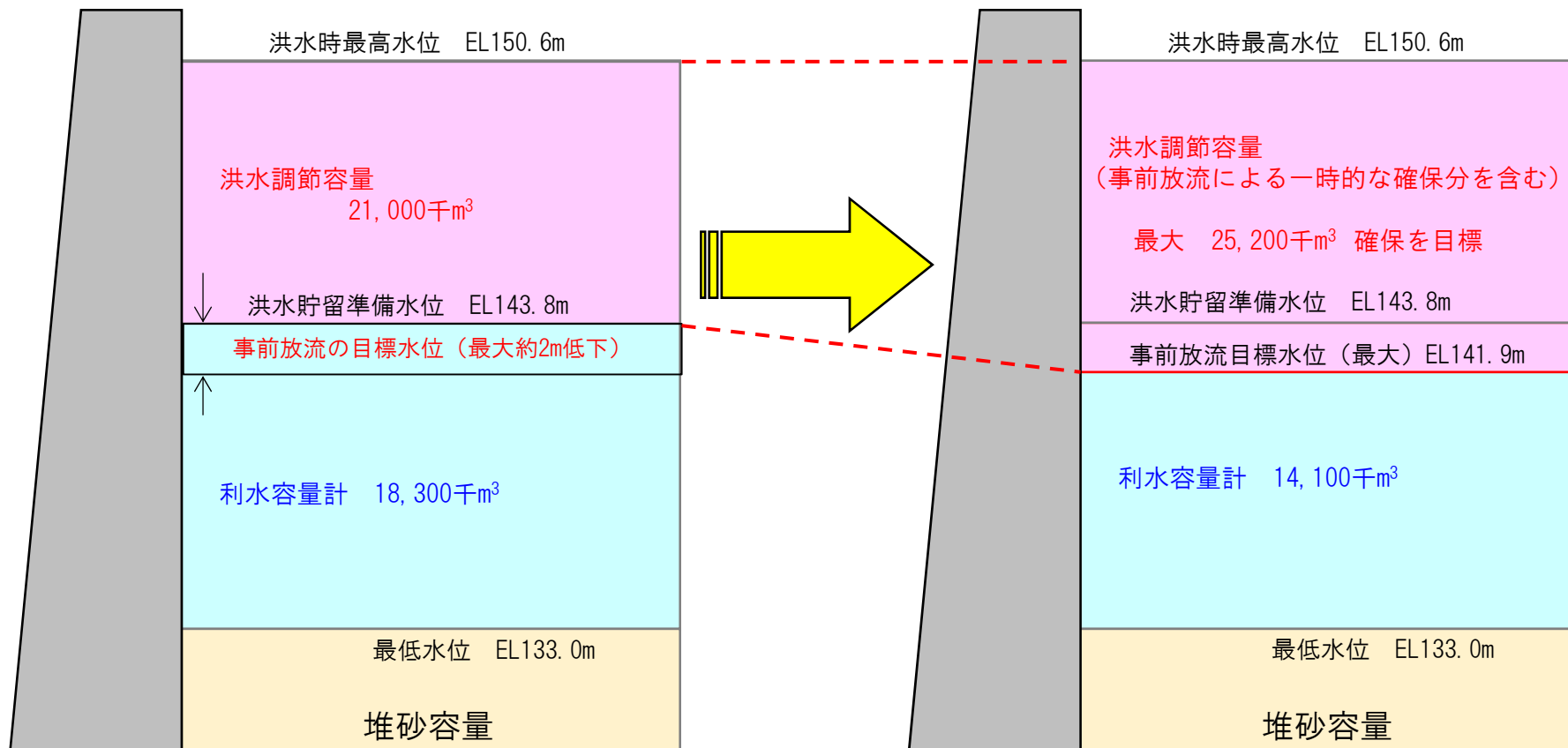
- 水利権が未設定の利水容量を洪水調節等の他目的に暫定的に活用することにより、治水安全度を向上させる。

出典：水管理・国土保全局関係予算概要  
平成31年 1月 国土交通省 水管理・国土保全局

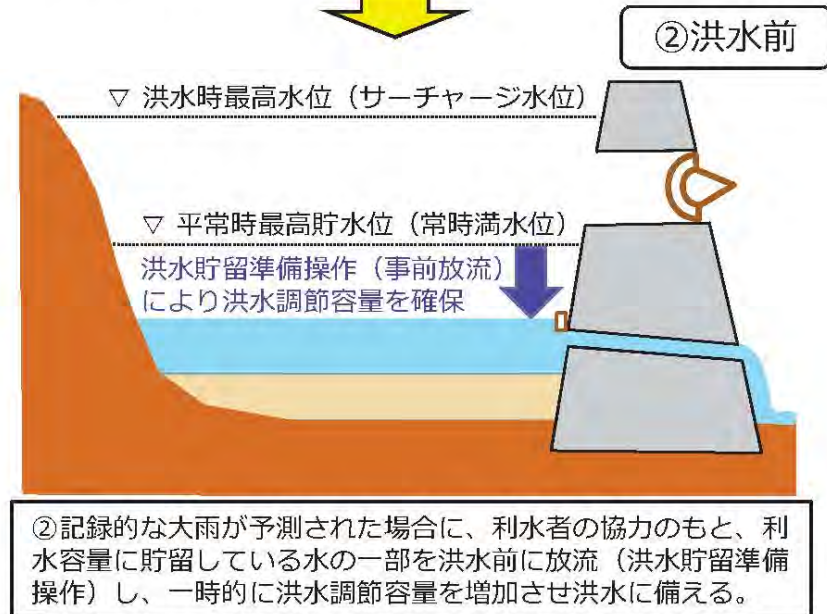
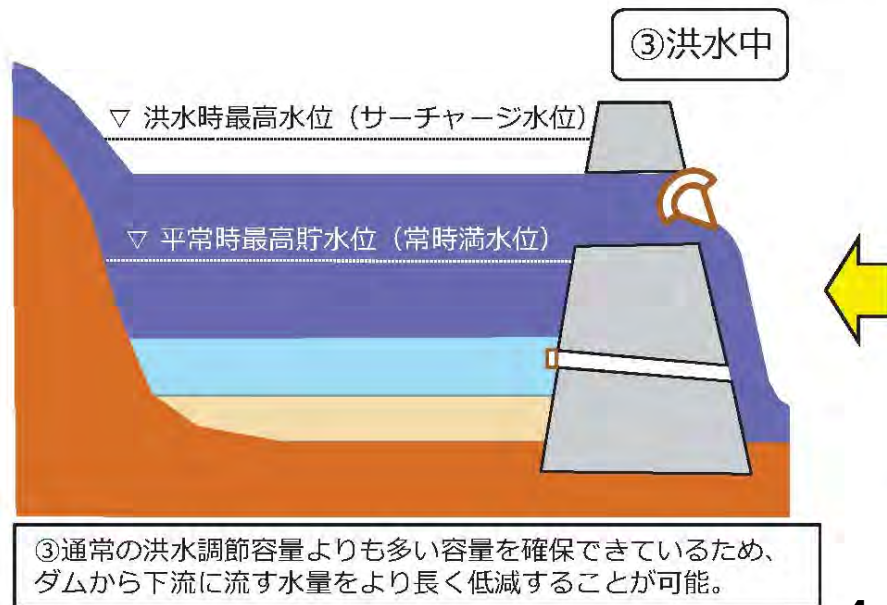
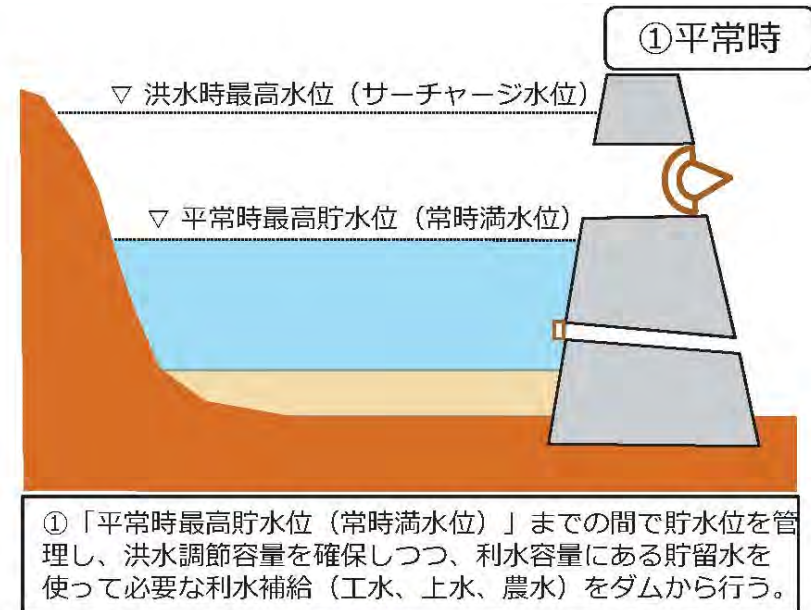
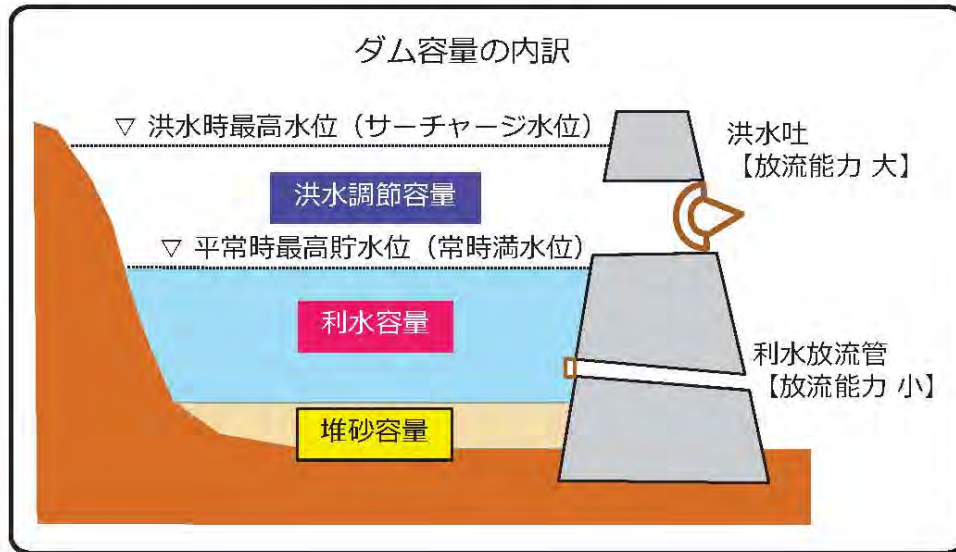
# 1. 利水容量の暫定的活用 —洪水時における釜房ダム洪水貯留準備水位イメージ—

## 釜房ダム貯水池容量配分図

## 利水容量の暫定的活用時の貯水池容量配分図

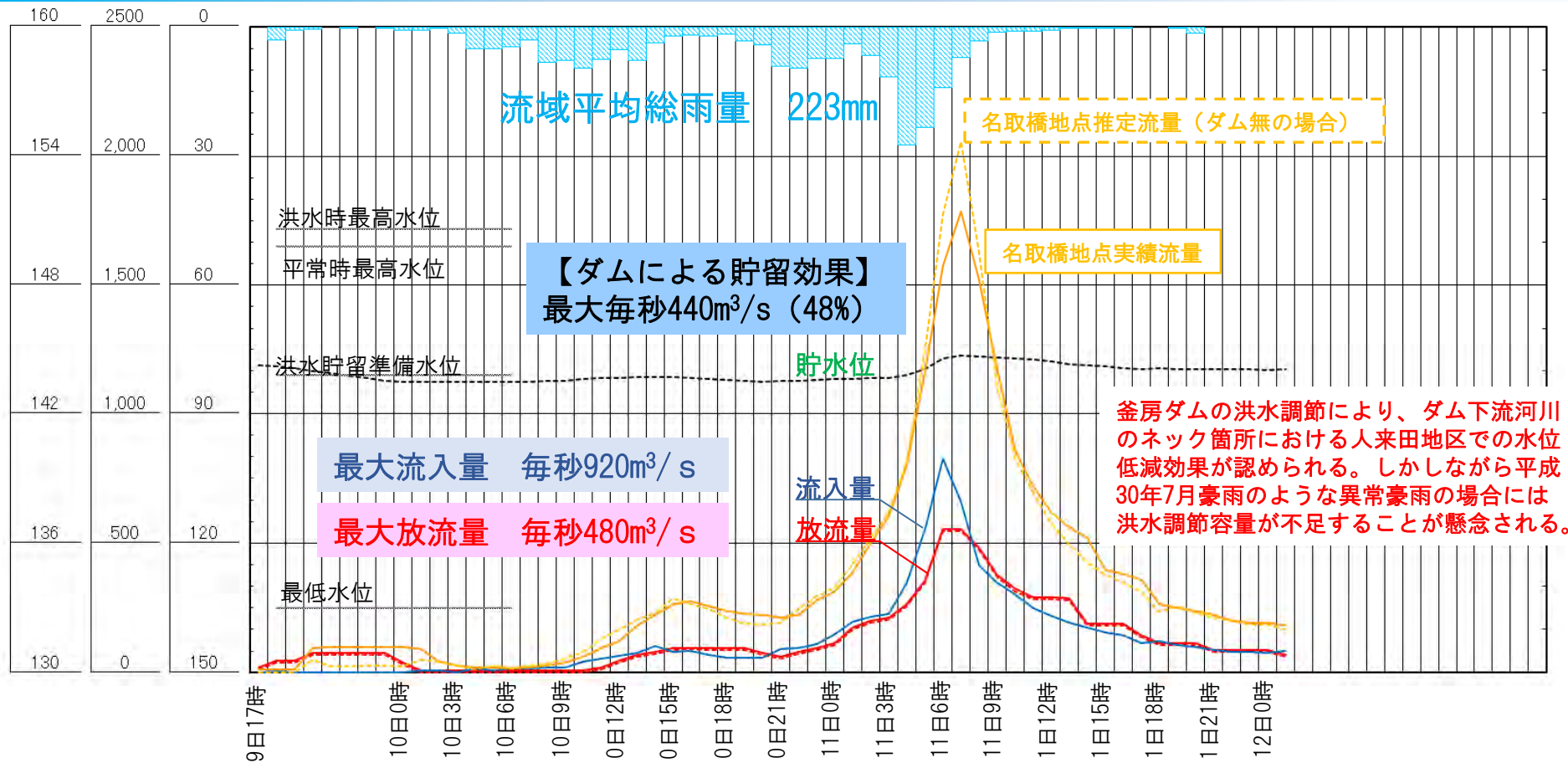


# 1. 利水容量の暫定的活用 — 洪水貯留準備操作（事前放流） —



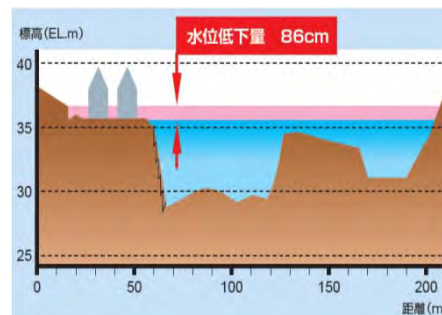
# 【参考】平成14年 7月洪水 釜房ダムの防災操作実績

平成14年7月10日～11日までの降雨に対する釜房ダムの対応



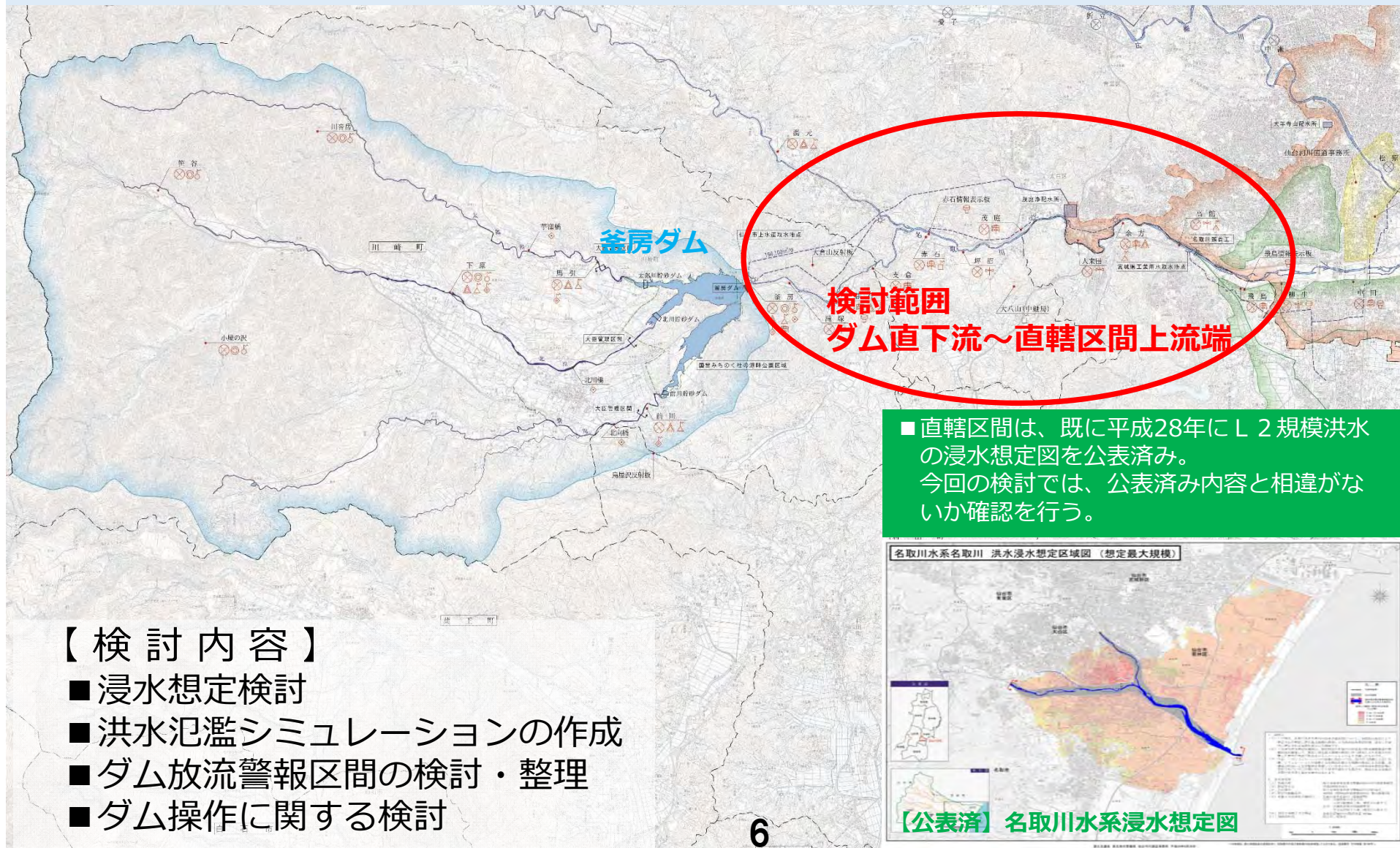
## ■ ダム下流の状況【仙台市人來田地区】

平成14年7月洪水で、ダム下流の人來田地区においてはダムの防災操作により、ダムが無かった場合より、約80cm以上、河川の水位が低下していたと推定。



## 2. 釜房ダム下流浸水想定検討（ダム地点での最大規模降雨を想定）

- ダム地点の降雨を想定できうる最大とした場合のダムからの放流量と浸水範囲について検討を行うもの。
- ダム下流の警報所の場所、警報の内容、時間等についても検討を行う。



## 2. 釜房ダム下流浸水想定検討 ー釜房ダムの下流地形状況ー

